
なにゆえと

社暖簾

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なにゆえと

【Nコード】

N9784S

【作者名】

社暖簾

【あらすじ】

なにゆえと しりぬるを

「自分を動物に例えるならなんだと思う?」
「うーん・・・なまけものかな。キミは?」
「僕は蛇」
「へび?」
「うん、似てない?」
「そうかな。」
「そうだよ。」
「そっか。」
「うん。」
「あ、じゃあなりたい動物は?」
「猫、かな。」
「どうして?」
「可愛がってもらえるから。」
「キミがそんなこと言うなんてちょっと、意外。」
「そうかな。」
「そうだよ。」
「そっか。」
「うん。」
「そういうお前は何になりたい?」
「わたし、カメレオンになりたい。」
「・・・どうして?」
「誰とも仲良く、争わずに生きたい。」
「無理だよ。」
「できるよ。」
「無理だよ。」
「ムリだけどさ。」
「特別にお前は絶対無理だよ。」

「ひどいなあ……でも、その通り。」

「難儀だね。」

「それはお互いさまでしょ。」

「はは、違うない。」

「過ちが去ると書いて過去と読む。」

「ふむ。」

「未だ来ずと書いて未来と読む。」

「ふむふむ。」

「では、現在はなんと書いてどう読むだろう。」

「……目に民と書いて、眠い。」

「ははは、お布団一枚。」

「いや、うまくねーよ。」

「やあ。」

「よう。」

「……」

「……」

「なに読んでるの?」

「村上春樹。」

「へえなんて名前の本?」

「ノルウェイの森。」

「おもしろい?」

「全然。」

「……」

「……」

「……………」
「……………」
「……………」
「ねえキスしよっか。」
「……………」
「……………」
「……………」

「デイボーレがやられたようだな。」

「クククツ……しかし奴は四天王の中でも最弱……」

「ふん、我らヴァンダルレギオンの面汚しめ……」

「なぜあんな雑魚が同じ四天王なのか不思議なくらいだ。」

「……でも、悪い奴じゃあなかつたよな。」

「……………そう、だな。」

「くそつ勇者どもめっ……」

「もはや容赦などしない……全力で奴らを倒すぞ。」

「ああ。」

「待ってるデイボーレ、お前の仇は討つ。必ず、な。」

「奴らが自分達の正義でデイボーレを倒したというのなら」

「我々は我々の悪で奴らを倒す。」

「我らは『完全超悪』ヴァンダルレギオン。」

「勇ある者よ恐れ懼け」

「悪を崇めし者よここに集え」

「極悪非道の名のもとに今、悪を成す」！

「あいしあうーふたーりしーあわせのーそらー」

「さくらんぼ」

「ん……きーみのーふるえーるてをーにぎるつと」

「天体観測」
「うー、まだ途中だったのにー。」
「ごめんごめん。」
「ん。・・・ほーらーあなたにとってーだいーじなひとーほどーす
ぐーそばにいるのー」
「えっと、小さな恋のうた」
「ん。どこかーにーげんきをーおっことしてもー」
「あー・・・なんだっけそれ。」
「葛飾ラプソディー」
「あーそうだそうだ。」
「つぎ。」
「おう、ばっちこい。」
「ん。こーどものころにーわかりかーけてたことかー」
「胸のドキドキ」
「うー、違う。」
「あれ、そうだったっけ？」
「胸がドキドキ」
「ああ、なるほど。」
「おほか。」
「ごめんごめん。」
「負けた、から。ジューズおご、ね。」
「わかったよ、何がいい？」
「・・・やっぱり、いい。」
「んーなんで？」
「今日 は、ゆるして やる。」
「そうかーじゃあ僕からのサービスだ、っと。」
「わ、わ。」
「わははは、行くぞー」
「お、おる せ。」
「わははー」

「うー。」

「やっぱりお姫さまだっことは恥ずかしい？」

「ん。ん。」

「おれは恥ずかしくないもんねー。」

「うー。おほか。」

「そりゃあバカップルだかなー。」

「……」

「わっはっはー。」

つづく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9784s/>

なにゆえと

2011年5月4日02時56分発行